

(6) 気象条件の悪化等により、通学が困難となることが事前に予測される場合の判断について

台風の接近により、台風の暴風雨の影響に入ること、また台風による被害から通学が困難となることが予測される場合など、学長の判断により、警報等の有無にかかわらず事前に一斉休講を決定することがある（授業中や翌日の授業に関する判断をすることがある）。

(7) 一斉休講時の周知方法

ユニバーサルパスポートを利用して一斉休講を通知する。

学生はガイドラインから判断できない場合、自らの安全を第一として行動し、後日教務事務センターに相談する。

## 地震対応マニュアル

学内において地震が発生した場合は以下の方針に従ってください。

1号館、2号館、3号館、5号館、専門学校棟	建物の倒壊の危険性は極めて低いです（※）。慌てて屋外へ飛び出さず、窓際(ガラス)や落下物・倒壊物から離れ、机の下に潜るなどして、校舎内にて危険を回避してください。
4号館、旧5号館、学生・同窓会館	速やかに建物から離れて中庭の中央部に避難してください。
火災が発生した場合 教職員から指示があった場合	聖隷学園野球場へ避難してください。（P42参照）

※ 本学の1号館、2号館、3号館は1992年以降に建設された「鉄筋コンクリート（RC）構造・鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）構造」であり、倒壊の危険性は極めて低いと言えます。また、2013年に完成した5号館は免震構造を採用しています。

突発的に大地震が発生した場合は、学生は以下の事項に従い行動してください。

### 1) 学内で地震が発生した場合

3秒 【地震発生】	<p>①まず、身の安全を守る 机の下などに避難する。</p> <p>②目の前の火を消す</p> <p>③脱出口を確保する 教室・廊下などの窓・扉を開ける。</p> <p>④慌てて外に飛び出さない</p>
1～2分 【大揺れが収まったら】	<p>⑤火元の確認をする 実習室・実験室等で火災の原因となるもの(ガス元栓、実験器具、化学薬品等)の始末をする。 →近くで火災が発生したら大声で知らせ、慌てずに初期消火をする。</p>

◀地震発生時の避難方針

◀突発的に大地震が発生した場合の行動

3分	<p>⑥校舎内で危険を回避する</p> <p>大地震には余震が伴うため、引き続き周囲の状況に気を配り、安全な場所（机の下等）で危険を回避する。</p> <p>※4号館・旧5号館・学生・同窓会館にいる学生は速やかに建物から離れ、中庭の安全な場所に避難する。</p> <p>※火災が発生した場合などは、緊急放送や避難誘導者の指示に従い、聖隷学園野球場に避難する。（P42参照）</p>
5分～15分	<p>⑦救護・救助する</p> <p>周りの無事を確認し、自分の身が安全な範囲で救護・救助にあたる。</p> <p>大揺れが収まった後、教職員は速やかに校舎内の火災発生箇所や倒壊箇所の点検を行います。</p> <p>校舎内の無事が確認でき次第、非常放送などにより教職員から指示が出されます。</p>
15分～30分	<p>⑧点呼教室へ移動する</p> <p>非常放送や教職員の指示があった後、急がずに落ち着いて、決められた点呼教室へ移動する。</p>
30分～45分	<p>⑨点呼教室で人員点呼を行う</p> <p>⑩安否情報システム「ANPIC」（P43参照）での安否報告も行う</p>

## 2) 通学途中で地震が発生した場合（臨地実習施設等への移動中も含む）

- ①倒壊物（ブロック塀、石塀、電柱や自動販売機等）から離れる。
- ②頭上の落下物（屋根瓦、ベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランター等）にも注意する。
- ③建物が倒壊したり、瓦礫や窓ガラスが道路内に散乱する可能性があるため、揺れを感じたら周辺の状態に十分注意する。
- ④安全を確保した後、直ちに最寄りの避難地、自宅（下宿等）、大学校舎内（1・2・3・5号館）のいずれか最も近い場所で待機する。
- ⑤安否情報システム「ANPIC」等により、大学へ連絡する。

## 3) 臨地実習施設で地震が発生した場合

- ①担当教員の指示に従う
- ②当該施設の災害対策体制に応じて行動する。
- ③安否情報システム「ANPIC」等により、大学へ連絡する。

## 4) 自宅（下宿等）で地震が発生した場合（P77参照）

## 5) エレベーター内で地震が発生した場合

- ①直ちに最寄りの階で降り、階段を使って避難する。
- ②ドアが開かない場合は、インターホンで事務室と連絡を取る。
- ③落ち着いて救出を待つ。
- ④可能な限り、安否情報システム「ANPIC」等により、大学へ連絡する。

## 日常生活における注意事項

- 1) 自宅・下宿からの避難地・避難経路の確認をしておくこと。
- 2) 災害発生時に備え、非常持ち出し品等を準備しておくこと。（P77参照）
- 3) 災害発生時の家族間の連絡方法と集合場所について日頃から家族とよく話し合っておくこと。
- 4) 緊急時の連絡のために住所、電話番号の変更時には、WEB（ユニバーサルパスポート）から登録内容を変更しておくこと。

- 5) P30.「Gmailアプリについて」を参照し、Gmailをいつでも確認できる状態にしておくこと。
- 6) 安否情報システム「ANPIC」のアドレスを読み取り（P43参照）、事前にスマートフォンなどにブックマークを行っておくこと。「ANPIC」へログインし、安否情報の閲覧等をする際に使用します。

地震の発生が予測された場合は、学生は以下の事項に従い行動してください。

<p>学内において地震発生が予測された場合（緊急地震速報など）</p> <p>→ 窓際（ガラス）や落下物・倒壊物を避け、校舎内（1・2・3・5号館・専門学校棟）の安全な場所へ移動してください。</p>
--

◀地震発生が予測された場合の行動について

## 2021年度点呼教室

階	1号館=看護学部1・2年次生/助産学専攻科		
4	1401 中教室 21N001~21N080 看護1年	1408 中教室 21N081~ 看護1年	1409 中教室 20N001~20N080 看護2年
2	1222 看護演習室1 20N081~20N128 看護2年	1223 看護演習室2 20N129~20N158 看護2年	1225 看護演習室4 助産学専攻科

階	2号館=社会福祉学部/看護学部3年次生		
4	2402 中教室 19N001~19N096 看護3年	2406 演習室 19N097~19N128 看護3年	2401 保育実習室 19N129~19N158 看護3年
2	2201 小教室 こども教育福祉学科1年	2202 中教室 こども教育福祉学科2~4年	2F学生ホール 介護福祉学科3~4年
1	1F学生ホール北側 社会福祉学科1~4年		

階	3号館=リハビリテーション学部						
3	3301 小教室 ST1年 ST2年	3302 小教室 PT3年	3303 演習室 19RS01~19RS08 ST3年	3304 演習室 19RS09~19RS16 ST3年	3305 演習室 19RS17~19RS24 ST3年	3306 演習室 19RS25~19RS31 ST3年	3307 小教室 PT2年
2	3201 作業技術学実習室 OT1年	3203 OT多目的実習室 OT2年	3209 演習室 19R001~19R009 OT3年	3210 演習室 19R010~19R018 OT3年	3211 演習室 19R019~19R027 OT3年	3212 演習室 19R028~19R038 OT3年	
1	3101・3102 PT多目的実習室 PT1年						

階	専門学校棟	
2	6202 普通教室1 専門学校2年	6203 普通教室2 専門学校1年

階	5号館=4年次生のみ（看護学部/リハビリテーション学部）		
5	5501 小教室 ST4年	5502 小教室 OT4年	5503 小教室 PT4年
4	5401 中教室 18N001~18N090 看護4年	5402 中教室 18N091~18N174, 17N 看護4年	

◀点呼教室について